

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2009年10月15日 No.97
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

「川中さん 重複ガンの症状」 里見医師言 原爆症訴訟 協同病院で出張尋問ひらく

原爆症集団訴訟の口頭弁論が10月14日、倉敷市水島の協同病院で開かれました。これは原告の川中優子さんの主治医として裁判に関わってこられた協同病院里見医師の証人尋問として行われたものです。川中さんの病歴について弁護士が細かく質問し、里見医師は「川中さんは重複がんの症状」として証言されました。被告の国側は被爆当時の「下痢・嘔吐・脱毛などの症状」や、すい臓の病気が「飲酒」が原因など被爆との関係を打ち消すことに終始しました。



協同病院での出張尋問 10月14日 中央・里見医師(開廷前)

高梁 署名推進で市長懇談を申し入れ

市内13000世帯に宣伝チラシ新聞折込計画

高梁原水協は10月14日理事会を開き、2010年のNPT再検討会議にむけて署名目標を達成させるための意思統一を行いました。

最初に県原水協平井事務局長が核兵器廃絶をめぐる最近の情勢について報告。質疑を行いました。

署名の取り組みについては、近藤隆則市長に、「核兵器のない世界を」署名協力の要請を行おうということで議論が行われました。「行政権力である市長を通じ、行政機構の一端である町内会を活用することは如何なものか」という問題提起もあり熱心な議論が行われました。「核兵器廃絶という全人類の課題を行政と一緒に運動することは問題ない」ということで、協力要請の懇談を申し入れ、10月中に実現できるよう働きかけることにしました。

原水協独自の取り組みとして、高梁市内13000全世帯に市長の支持アピールを掲載した署名用紙付きの宣伝チラシを新聞折込すること、継続的署名行動を行うこと、当面11月9日に区域を決めた戸別訪問方式で署名行動を行うこと、11月8日の健康祭りで署名行動を行うことなどを確認しました。

新理事長に三村盛紀さん

これまで長い間 高梁原水協の理事長として奮闘されてきた丸山清さんが体調をくずされ理事長の辞意を表明されました。理事会はこれを了承し、新理事長に三村盛紀さん(共産党)を選出しました。

笠岡

準備をはじめました。

県原水協の呼びかけにこたえ、笠岡市で核兵器廃絶署名運動の準備が始まりました。10月14日、市職労、新婦人、平和委員会、共産党の代表5人が集まり、笠岡市における署名をいかに進めるかの議論をおこないました。市内の著名人に働きかけ賛同をいただき、チラシに載せ大きな市民運動にしていこうと話されました。次回21日にさらに具体化をすすめます。

